



# ジオ学で防災教育を 活動報告会

高知県立室戸高校 生徒会担当  
山下 聖



MUROTO  
HIGH  
SCHOOL

## 目的



- 地域の自然や文化や歴史に誇りを持つ人材育成。
- 科学者と行政、地域住民の関わりについて、自ら考える人材の育成。
- 地域の防災リーダーとしての知識と技術を身につけた人材の育成。
- 対象者(高校生)のみならず、地域住民や中学生・小学生の防災意識の向上に寄与する。

# 活動事例4：南海地震フォーラム



## 成果と課題

- 高知県内、他の高校の防災に対する取り組みを知ることができた。
- 避難カルテ作成がこの時までに関に合わず、防災教育チャレンジプランのこれまでの取り組みの紹介だけになってしまった。

## 活動事例5：避難訓練



## 活動事例6：講演（南海トラフ地震と防災ボランティア）



【東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）】  
・発生日時：2011年3月11日14時46分  
・マグニチュード：9.0  
・最大震度：7（宮城県栗原市）  
・津波：14時49分大津波警報発表  
宮城県：5m以上、大船被害：0m以上  
石巻市：8m以上、大船被害：3m以上  
※宮城県では津波が0m～1m程度で、海浜を中心に  
40、50mの地点に津波が到達した。津波被害

## 活動事例7：ボランティアセンター受付体験



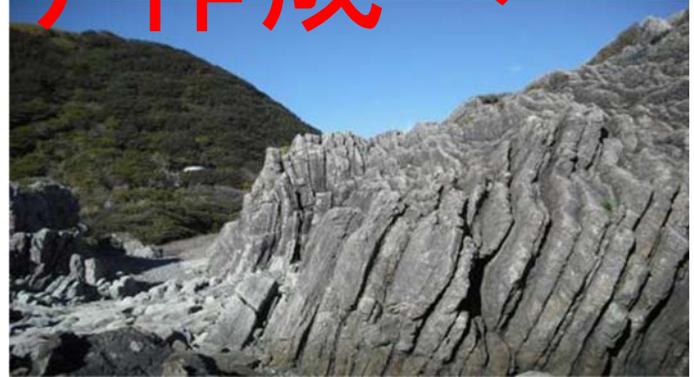
### 成果・課題

- 東日本大震災の防災ボランティアを体験した人の話を聞くことでより身近に
- 高校生も助ける側になれるという気持ちに
- 形式ばったものではなかなかイメージがつかめない  
(流れ作業のような状態に・・・)やはり実際に体験的な作業することも必要であると感じた。

## 活動事例8: ジオパーク災害学習



# 避難カルテ作成へ



## 避難カルテ



住民一人一人の事情に合わせて、住民と一緒に  
につくった、個人のための避難経路や計画。

- ハザードマップや避難計画は、住民一人一人が活用するには情報量が少ない。
- ハザードマップや津波の映像によって逃げることを諦めている住民が多い。



- 高校生が助けられる側でなく助ける側であることを意識できる。
- 若者とのコミュニケーションによって、高齢者にも逃げる意識の芽生えが期待できる。

# 避難カルテ作成に向けて



聞き取り  
調査  
開始



# 避難カルテ

## 防災教育チャレンジプラン



片山独子さん (87歳)

### 緊急連絡先

住所	〒	
氏名		
持病		
※にすぎぬところ、併になし		

国道55号 (R55)

2階はほとんど使用していない  
 いっもいる場所は必ず河川側  
 床は高100年以上

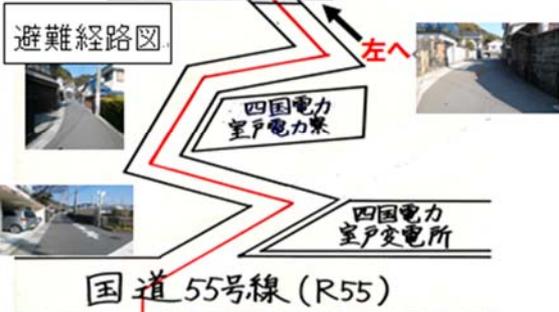
注意  
 津波に注意  
 この地区は  
 6.9  
 震度

四国電力



## 防災教育チャレンジプラン

### 避難場所



### 消防サイレン一覧表 (保存用)

種別	サイレン	音	時間
建物火災	7	連続音	1分
山林火災	5	連続音	1分
必達地震	7	連続音	1分
災害地震	2	連続音	1分
鎮火	1	連続音	1分
火災警報	3	連続音	1分
津波警報	10	連続音	1分
津	5	連続音	1分
BC	1	連続音	1分

火災警報 地震の揺れが最大で連続音であることにより  
 津波警報 津波警報が最大となったとき(津波警報・津波警報が連続でも同様です。)  
 津 警報 津波警報が最大となったとき(津波警報・津波警報が連続でも同様です。)  
 震 警報 災害警報が最大となったとき(津波警報・津波警報が連続でも同様です。)  
 お問い合わせは、室戸市消防本部 警防課まで (TEL: 0887-22-0014)



## 成果と課題

- 生徒たち自らが行動し対象となるお年寄りを見つけることができた→**主体性を持った取り組み**
- 地域の方と触れ合い、本校の取り組みを理解していただくことができた→初めはとても不安だったが
- 高校生と防災も含めて触れ合うことでお年寄りの方々の気持ちに変化が・・・

逃げても無駄→カルテがあれば逃げられる→生きたい

- 1人の避難カルテ作成までには相当な時間がかかる→室戸市全域をカバーするまではかなりかかるのでは...

## 今後の活動

- ・継続して避難カルテ作成  
浮津長寿会の集会への参加も
- ・避難経路の安全確認  
今回は、天候などにより何度も中止に・・・

## 年間通して

- ・地域唯一の高等学校として担う役割は様々  
テレビや新聞のニュースに取り上げられることも多い
- ・地元地域の学習を深めていくことで地域理解につながり、防災に向けての意識が高まった
- ・避難カルテ作成に至るまでの過程が時間がかかった分、出来上がりにしめる生徒の充実度は高かった

## 人材育成は・・・

- ・本活動を通し、避難カルテ作成までたどり着くことができた。(教員のサポートは最小限)
- ・地域に誇りを持ち、住民とかかわり防災リーダーとしての自覚も芽生えた。  
ジオ学→ガイド等の経験を活かしリーダーに  
生徒会→聞き取り調査等を活かしリーダーに
- ・主体的に行動できるように！！

高校生の持つ力を改めて理解できた。

人口減少

就職難

南海地震

# 乗り越える力

一年間ありがとうございました